



東洋水産ニュース

2011 年 5 月

北海道の即席めん製造拠点を一新 札幌工場を小樽市に移転



東洋水産株式会社（本社：東京都港区、社長：堤 殷）では、北海道札幌市内の即席麺工場並びに営業拠点を、小樽市銭函に移転致します。

用地は 2001 年度に取得済で、すでに石狩第 1～3 冷蔵庫と、生麺・魚肉ハムソーセージ製造工場である石狩東洋（株）が稼働しています。新しい即席麺工場と営業拠点は、石狩東洋（株）に隣接する形で、2011 年 5 月に着工、2012 年 4 月頃より稼働開始する予定です。

新工場は品質管理を重視した最新の設備で、カップ麺・袋麺の合計 4 ラインを設置し、赤いきつねうどん・緑のたぬき天そば・やきそば弁当各種などを、北海道地区全域に向けて供給致します。

即席麺・生麺製品の大規模生産拠点と、冷蔵部門・営業部門の集約により、安定した供給体制が整い、効率化を図ることで、今後はより一層の顧客サービスの向上に努め、きめ細かな販売活動を展開してまいります。

新工場の設置に伴い、現在の札幌工場（昭和 39 年設置、札幌市西区宮の沢）は閉鎖となります。

《 即席麺新工場の概要 》

○日程（計画）

- ・ 2011年 5月 工事着工
- ・ 2012年 4月 完成、生産開始

○所在地 北海道小樽市銭函

○総投資額 約60億円

○施設の概要

- ・ 構造 鉄骨造3階建て
- ・ 建築面積 9,400m²
- ・ 延床面積 23,000m²

○設置ライン 即席麺類 合計 4ライン（カップ麺、袋麺）

○生產品目 赤いきつねうどん、緑のたぬき天そば、やきそば弁当 他

○製品供給地区 北海道全域

○設備の特徴（計画）

- ・ 大型の直線生産ラインによる省力設備
- ・ 衛生と品質管理を重視した最新の設備
- ・ 空調の集中管理システムの導入（給排気、外気の侵入、湿度、温度等）
- ・ 資材自動倉庫設置による原材料管理体制の集約と効率化